

事業所名

熊本県こども総合療育センター くまのこ園

支援プログラム

作成日

2026 年

10 月

4 日

法人（事業所）理念		・総合療育機能の確立 ・障がいの早期発見・早期療育 ・地域療育の推進					
支援方針		1 児童発達支援計画に基づき、児童の心身の状況に応じてその児童の支援を適切に行うとともに、支援の提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮します。 2 支援の提供に当たっては懇切丁寧を旨とし、保護者及び児童に対し、支援上必要な事項について、理解しやすいように説明を行います。 3 提供する支援の質の評価を行い、常にその改善を図ります。 4 支援の実施に当たっては、児童福祉法その他関係法令を遵守します。					
開所時間		9 時	30 分から	14 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・障がい特性に配慮し、発達段階に合わせた基本的な生活スキルの獲得を目指していきます。 ・感覚の特異性に配慮し、分かりやすい環境設定を行って安心して学習ができるようにしていきます。 ・一人ひとりに合った支援ツールを活用し、スモールステップで無理なく進めていきます。					
	運動・感覚	・興味のあるものや玩具、支援ツールなどを活用し姿勢、運動、動作の基本的技能向上を目指していきます。 ・サーキットルームやソフトルームなどを活用し、楽しんで身体を動かし身体バランスの向上を図っていきます。 ・一人ひとりの感覚の特異性に配慮した環境を設定し、保有する感覚の活用ができるようにしていきます。					
	認知・行動	・様々な活動を通して、注視する力や模倣する力、選択する力を育てていきます。 ・アセスメントを重視し一人ひとりに合った支援を提供することで意欲を高め、自立した活動ができるように支援をしていきます。 ・興味関心に配慮した様々な個別課題を提供し認知を高めていけるようにします。					
	言語 コミュニケーション	・PECSなど自閉症支援のエビデンスに基づいた方法を用いてコミュニケーション支援をしていきます。（発達障がい児クラス） ・集まりの活動などで他者への注目を促し、個々の児童の返事の仕方を認めて他者と関わりコミュニケーションを取る意欲を育てていきます。（肢体不自由児クラス） ・自分の意思を伝えることが難しい児童に、サイン、PECSなどを活用し、コミュニケーションの幅が広がるよう支援をしていきます。（肢体不自由児クラス） ・保有するコミュニケーションスキルを更に伸ばせるようにしていきます。					
	人間関係 社会性	・ソーシャルストーリーズやコミック会話など自閉症支援のエビデンスに基づいた方法を用いて状況理解の支援を行っていきます。（発達障がい児クラス） ・手順書や順番表を活用したグループ活動を取り入れ、他者とのかわり方や社会のルールをを実践しながら学んでいきます。（発達障がい児クラス） ・家族療育を通して他家族と交流し、社会性を育てていきます。（肢体不自由児クラス）					
家族支援		・連絡帳や送迎時に情報共有を行っていきます。 ・必要時に面談を行い、相談事に対応していきます。 ・定期的な保護者勉強会で障がいについて知識や対応法等を伝えていきます。 ・家庭訪問（入園時・必要時）を行い家庭での困り感に対応していきます。			移行支援		・主催する支援会議に関係機関の参加を要請し、就学先や就園先にスムーズに馴染めるように引継ぎをしていきます。 ・就学後も必要な時は連携会議等に出席させていただきます。
地域支援・地域連携		・関係機関にくまのこ園主催支援会議へ参加要請し連携を強化していきます。 ・他機関主催の担当者会議へ積極的に参加していきます。 ・並行通園先での行事参加等に対し、支援ツールを活用した支援をしていきます。			職員の質の向上		・定期的なスタッフ勉強会とミーティングを実施していきます。 ・専門的な支援を学ぶ外部研修へ参加していきます。 ・外部専門家のコンサルテーション（年2回）を受けていきます。 ・虐待防止、感染症対策等の研修を受けていきます。
主な行事等		（共通）外部講師による音楽療法（月1回）・プール活動・おまつりひろば・もちつき・クリスマス会・卒園式 （発達障がい児クラス）外食体験・卒園児遠足 （肢体不自由児クラス）春の遠足・家族参加日・誕生会・運動会					